

# 「自助」「共助」「協働」で災害に強い街づくりをめざそう！ 岸根町町内会自主防災だより（第20号）

2024年（令和6年）4月 自主防災部発行

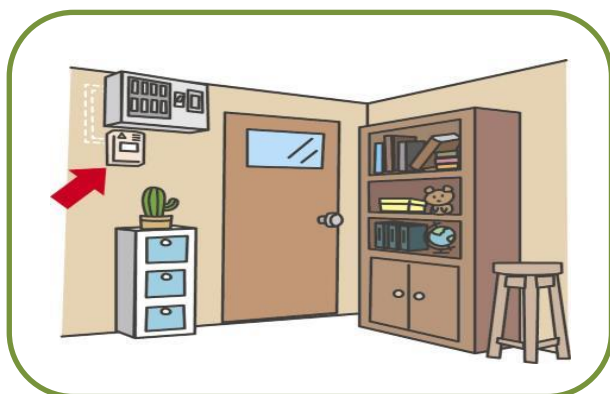
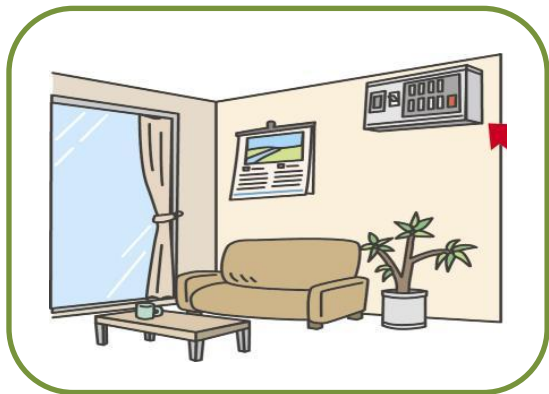
さあ、新年度がスタートしました。自主防災だよりも第20号を迎えることができました。皆様  
が少しでも防災行動力を高め、安全で安心できる街づくりを願い毎回、作成しています。

地震による火災の過半数は、電気が原因と言われています。東日本大震災における本震による火  
災111件のうち、原因が特定されたものが108件、そのうち過半数が電気関係の出火でした。

地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したとき  
に発生する火災のことです。（※日本火災学会誌「2011年東日本大震災 火災等調査報告書」よ  
り引用しました。）今回は、地震の時、自動で電気を遮断できる感震ブレーカーについて学びます。

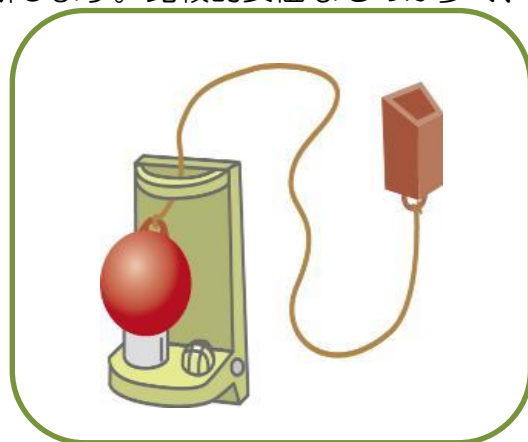
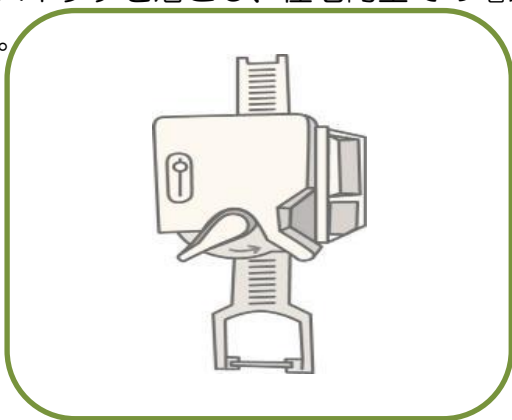
## 1 分電盤タイプ

ご家庭の分電盤に、一定の震度を感知して電気を遮断する機能が付いたもので、基本的には全て  
の電気が遮断されます。電気を使用する医療器具等があるご家庭などでは、設置について注意が  
必要です。



## 2 簡易タイプ

ご家庭の分電盤のスイッチに接続するもので、揺れを感知した際に、おもり玉の落下又はバネの  
作用などによりスイッチを落とし、住宅内全ての電気を遮断します。比較的安価なものが多く、  
工事が不要です。



3 コンセントタイプ ご家庭のコンセントに差し込むタイプと、既存のコンセントと取り替えて  
埋め込むタイプ(要工事)などがあります。基本的には個別のコンセントの電気を遮断するため、  
電気ストーブや観賞魚用ヒータなどの電熱器具を接続する箇所への設置が適しています。

（※ 横浜市ホームページより転載しました。平成6年6月より横浜市の助成対象等が変わりま  
す。新たな助成に関する内容等が発表されましたら再度、回覧等でお知らせの予定です。）